



「保育園こども食堂等を起点とした食支援事業」

事業者アンケート調査報告書

地域をつなぐ  
「保育園こども食堂」

2024.6.11

こどもたちのために、日本を変える

**Florence**

# 調査実施概要

## < 保育園こども食堂を起点とした食支援事業の事業者の取組み・活動効果に関する調査・分析 >

**調査方法：** こども家庭庁「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業」の中間支援団体であるフローレンスがアンケートを作成。  
食支援活動の実施団体に事業期間（23年7月末～24年1月末）終了後に回答を依頼。

### **実施概要：** 事業者の活動状況と効果の調査

「保育園こども食堂等を起点とした食支援事業」を行う事業者を対象にアンケートを実施し、助成を通じた活動の現状、事業実施による効果の調査を行った。

### **活動負荷および今後の期待についての調査**

保育園こども食堂などの食支援活動における事業者の負荷など課題を把握したうえで、今後の活動計画や助成事業への期待も調査した。

# アンケート調査概要

項目	内容												
調査名称	「保育園こども食堂を起点とした食支援事業」に関するアンケート調査												
調査目的	<ul style="list-style-type: none"><li>助成金を活用して保育園こども食堂などの食支援活動を実施した事業者の活動実態把握</li><li>助成金の活用やニーズの把握</li></ul>												
調査方法	オンラインでのアンケート回答												
調査期間	2024年3月25日(月)～4月24日(水)												
調査対象	保育園こども食堂などの食支援活動実施者（中間支援法人：フローレンス経由）												
調査対象者数	72件												
調査対象者数内訳	<p>回答者：保育園こども食堂の助成金利用者</p> <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>n</th><th>比率</th></tr></thead><tbody><tr><td>保育園事業者</td><td>55</td><td>76.4%</td></tr><tr><td>保育園以外の事業者</td><td>17</td><td>23.6%</td></tr><tr><td>全体</td><td>72</td><td>100%</td></tr></tbody></table>	項目	n	比率	保育園事業者	55	76.4%	保育園以外の事業者	17	23.6%	全体	72	100%
項目	n	比率											
保育園事業者	55	76.4%											
保育園以外の事業者	17	23.6%											
全体	72	100%											

# 「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業」とは？

## 参考：R5年度 ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業

### ひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業

支援局 家庭福祉課

令和5年度補正予算：25億円

#### 1. 事業の目的

困窮するひとり親家庭を始めとする要支援世帯のこども等を対象とした、こども食堂、こども宅食、フードパントリー等を実施する事業者を対象として広域的に運営支援、物資支援等を行う民間団体（中間支援法人）の取組を支援し、こどもの貧困や孤独・孤立への支援を行う。

#### 2. 事業の概要

##### 【1】国⇒中間支援法人

■こども食堂等の事業者を対象として広域的に支援を行う中間支援団体を公募し、選考委員会を開催した上で対象事業者を決定。

##### 【2】中間支援法人⇒こども食堂等

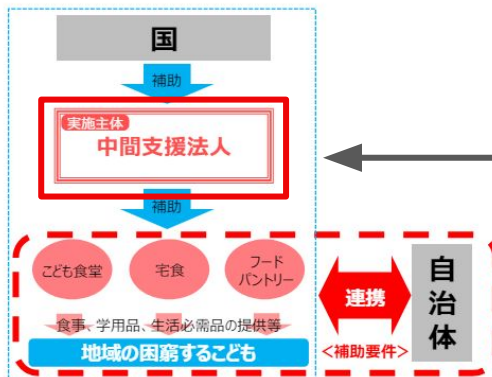
■こども食堂等から申請を受け付け、選考委員会を開催し助成対象事業者を決定。自治体との連携を補助要件とし、事業実施に必要な費用を助成（上限350万円）。

■助成対象事業者の活動状況について確認を行い、必要に応じて、活動内容等に対してアドバイスをを行う。

■事業の実施結果について報告を求め、適正な執行が行われたかの確認を行う。

##### 【3】こども食堂等⇒ひとり親家庭等のこども

■ひとり親家庭等のこどもに食事の提供等を行う。



自治体を経由せず、国から直接、中間支援法人を経由して補助する仕組み

経験やノウハウのある非営利団体であるフローレンスが「中間支援法人」として

1. 必要な費用の助成
2. ノウハウ提供を行いました。

※R6年度も同様の事業が実施されます。現在、中間支援団体として申請をしています。

#### 3. 実施主体等

【実施主体】 特定非営利活動法人、一般社団法人等の非営利団体 【補助基準額】 1法人当たり：350,000千円

【補助率】 定額（国：10/10相当）

5

## (参考) 助成対象とした事業 / 活動類型

重要な観点として「**保育園での食支援から地域の子育て家庭とつながる**」を実現するために、**どのような手法をとっているか**によって4つの活動に分類し、助成しました。

A

保育園こども食堂

保育園で調理した食事やお弁当を、保育園で提供する。食事をしながら、ご家庭の状況を伺い、困難を抱えるご家庭の相談に応じたり、適切な支援につなげる。

B

保育園でのフードパントリー

保育園に訪問してくれた要支援家庭等に食材や生活必需品をお渡しする。その際、ご家庭の状況をお伺いしながら相談に応じたり、適切な支援につなげる。

C

保育園を起点とした宅食  
(訪問手渡し型・配送型)

保育園こども食堂等で繋がった要支援家庭等へ食材や生活必需品を届ける。スタッフが訪問して手渡すか、郵送で届ける。ご家庭の状況をお伺いしながら相談に応じたり、適切な支援につなげる。

D

上記活動の組み合わせ

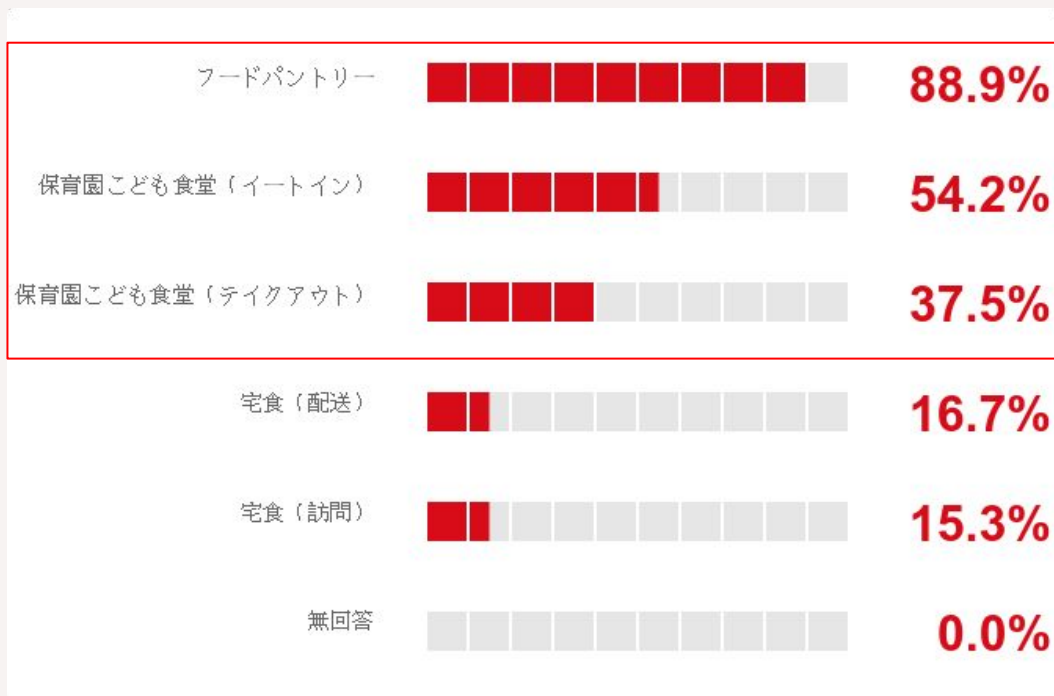
上記活動を組み合わせることにより、ご家庭との接点を増やし、状況に合わせて柔軟に支援を提供する。

# 調查結果

# 事業実施形態

## こども食堂+パントリー（複合型）の実施が多い

実施した活動類型は何ですか？



全体（保育園事業者・保育園  
以外の事業者合わせて）  
n=72

# 保育園事業者の 活動実施状況

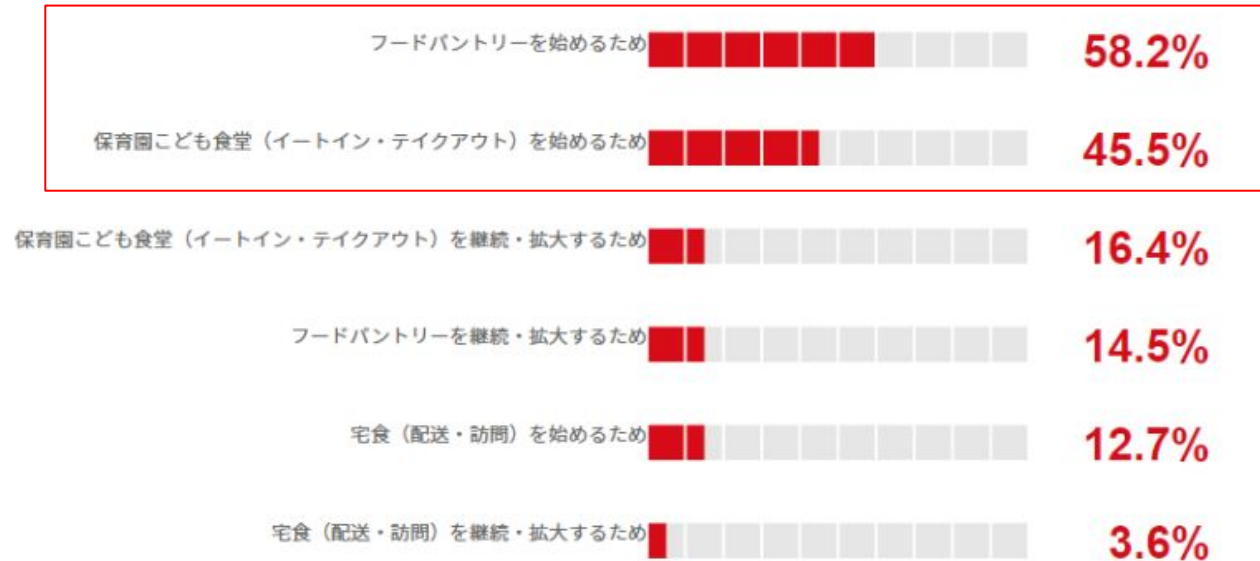
保育園事業者  
有効回答数: 55



# 事業実施のきっかけ

## 約半数が初めての取り組み

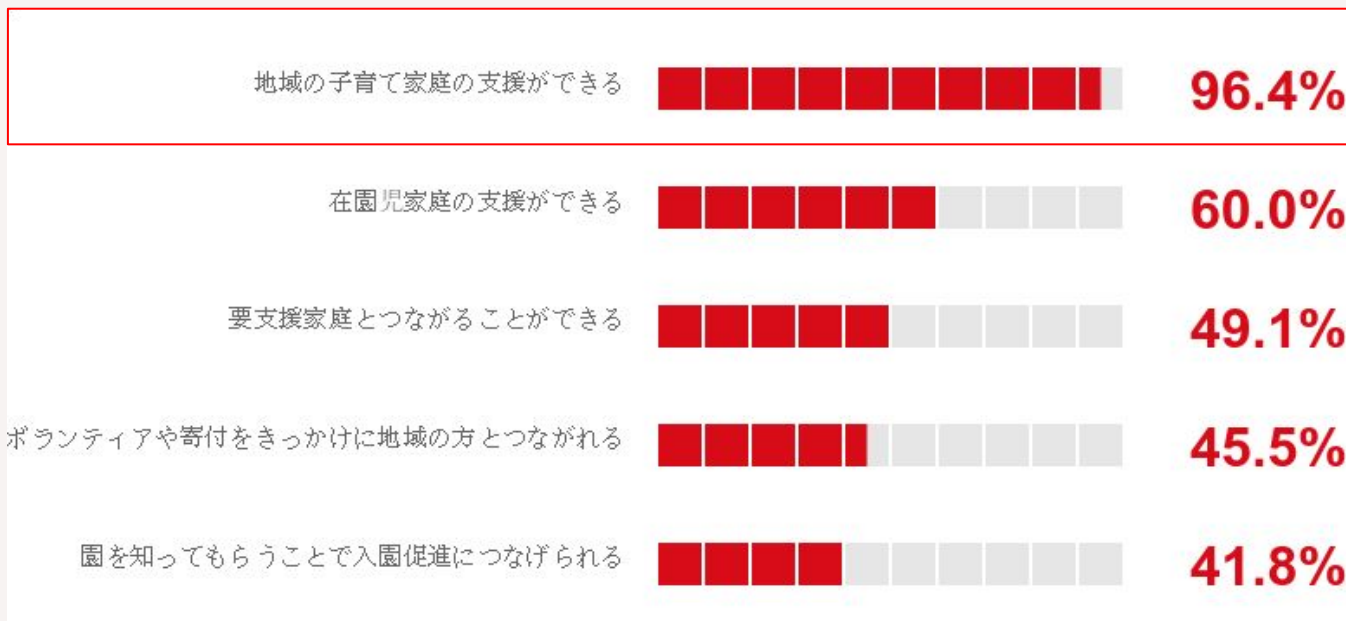
今回本助成金の申請に至った理由について教えてください



# 食支援事業への期待(1/2)

## 地域の子育て家庭の支援ができることへの期待が高い

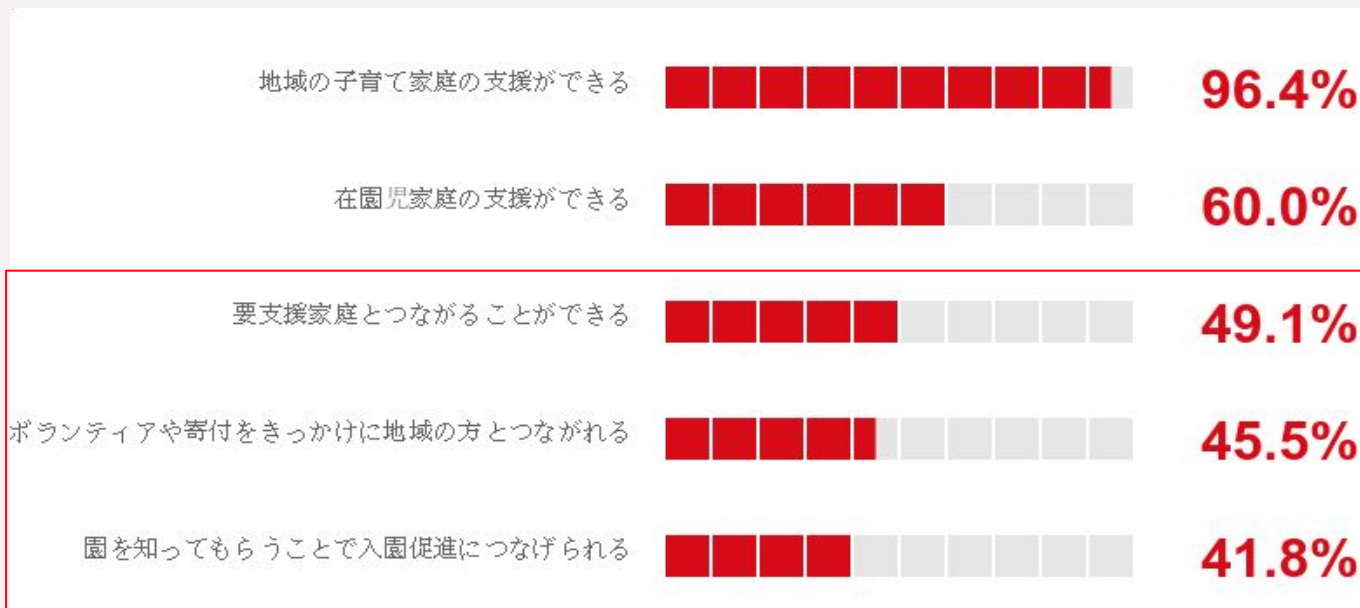
今回の助成事業を実施する前に、保育園を起点とした食支援活動に期待していたことを教えてください



# 食支援事業への期待(2/2)

## 要支援家庭との接続、地域連携、入園促進への期待も高い

今回の助成事業を実施する前に、保育園を起点とした食支援活動に期待していたことを教えてください



# 保育園こども食堂

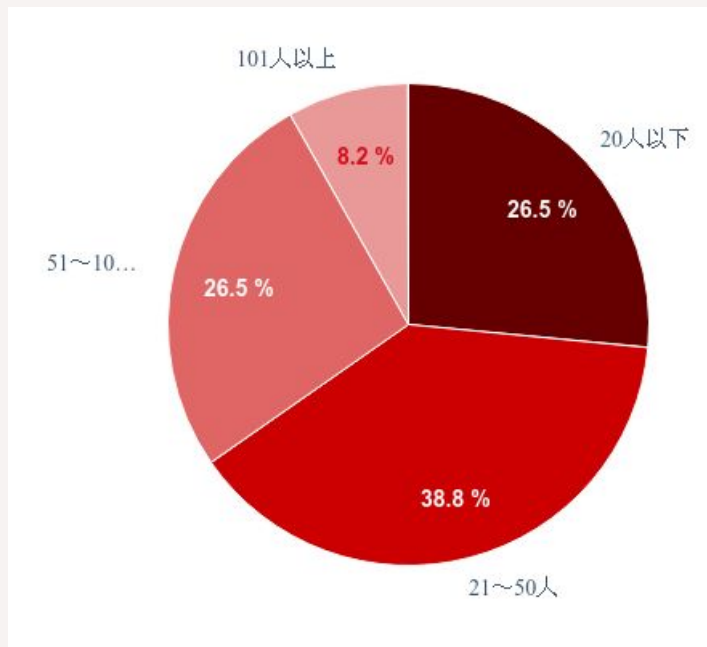
保育園事業者  
有効回答数: 39

保育園以外の事業者  
有効回答数: 10

# 保育園こども食堂事業実施規模 ※全体

## 1回の開催では21～50名の規模の実施が多い

(保育園こども食堂を実施した場合) イートイン・テイクアウト合わせて1回の平均支援者数(提供食数)はどのくらいですか。

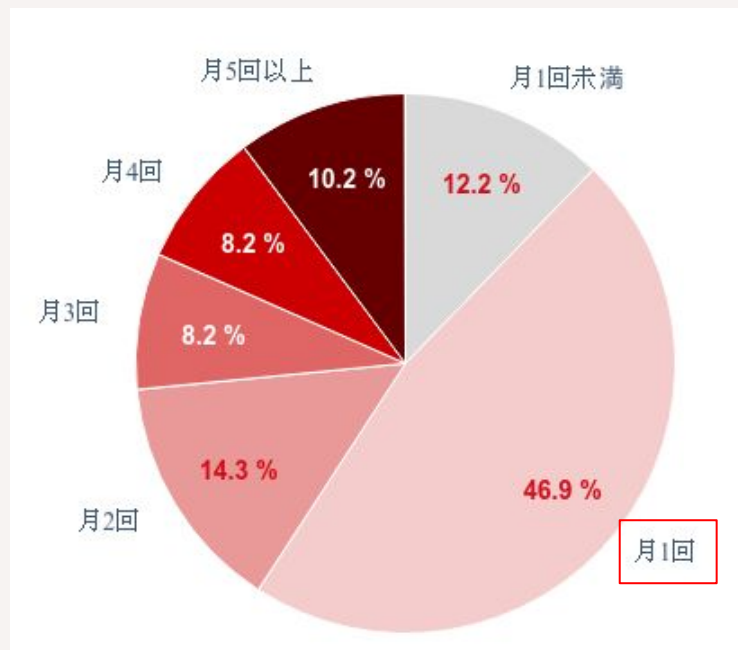


50人以下の実施が  
65.3%

# 保育園こども食堂事業実施頻度 ※全体

## 最も多い回答は月一回の実施（46.9%）

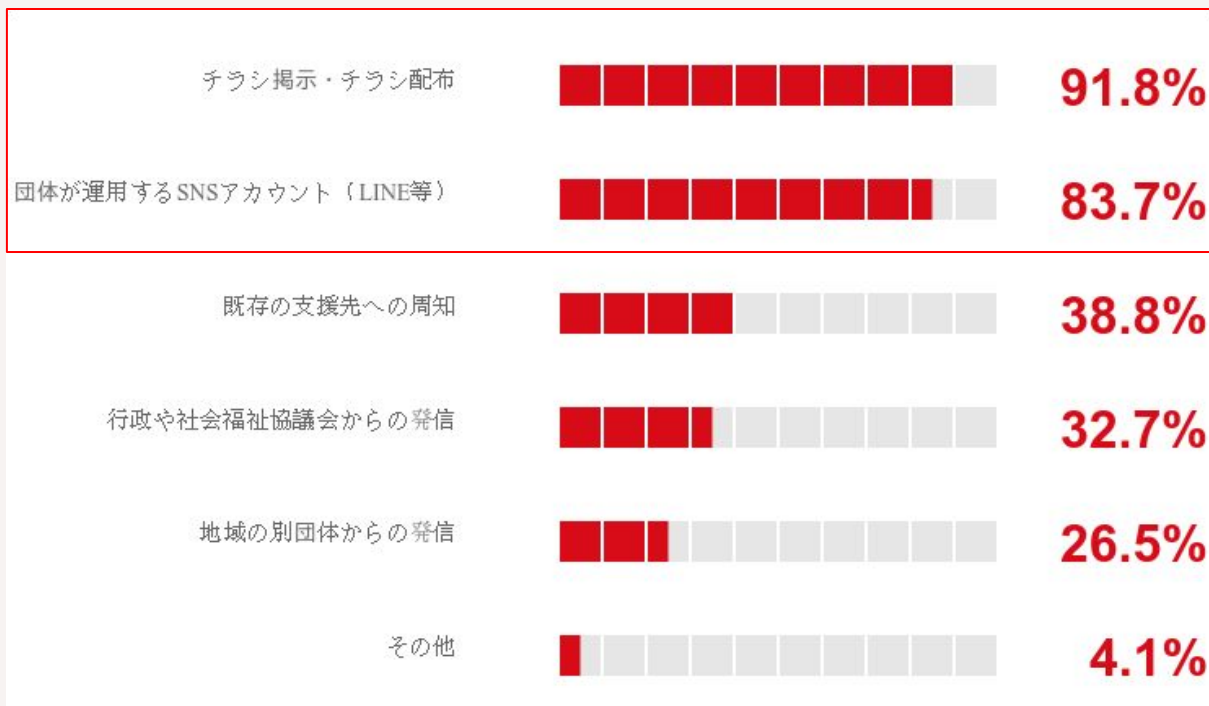
（保育園こども食堂を実施した場合）活動の頻度はどのくらいですか



# 保育園こども食堂事業の周知方法 ※全体

## チラシ・SNSでの告知を行う団体が多い

(保育園こども食堂を実施した場合) どのように募集や案内をしましたか



# 保育園事業者の実施する 保育園こども食堂の詳細

保育園事業者  
有効回答数: 39



## 保育園事業者の実施する食堂は**自団体が運営する保育園などがメイン**

（保育園こども食堂を実施した場合）実施した場所はどこですか

自団体が運営する保育園等



75.5%

他の事業者が運営する近隣の保育園等



10.2%

その他の施設（具体的に）



24.5%

次ページに詳細

## （自治体と連携するなど）地域の施設等でも実施している

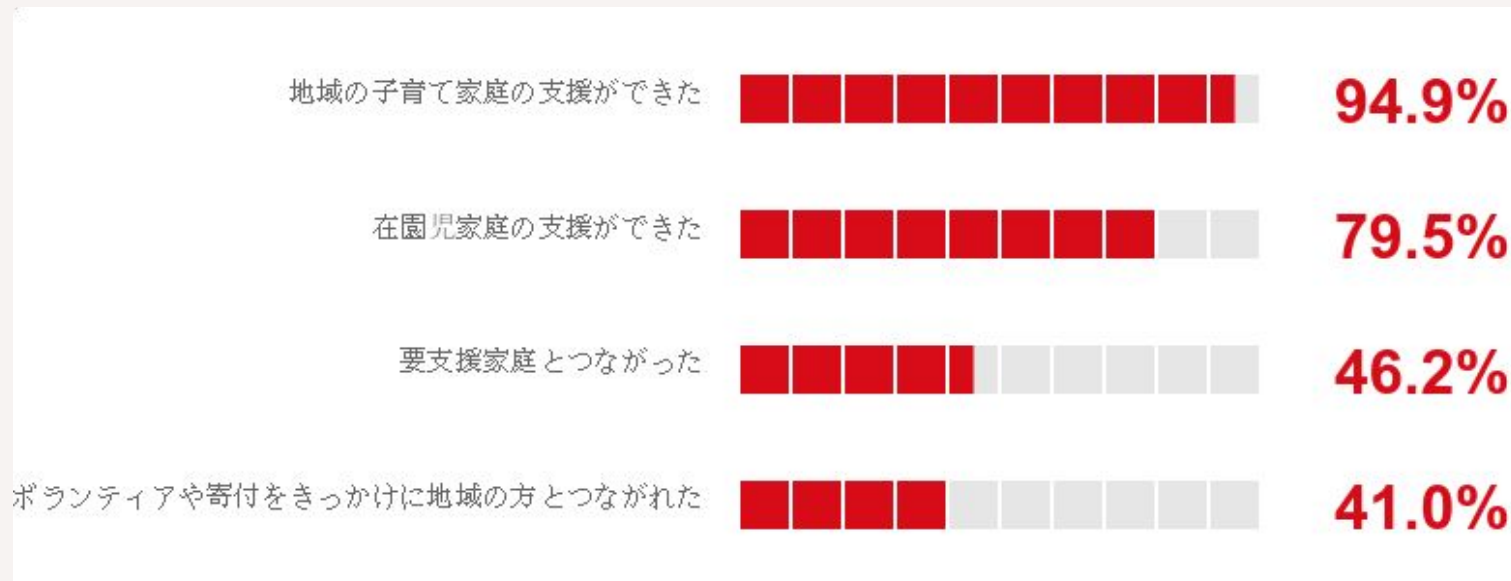
【その他の回答】 （保育園こども食堂を実施した場合）実施した場所はどこですか

- 学童保育施設
- 認定NPO法人が運営する地域交流拠点
- 小学校
- 公民館
- カフェ
- 系列園
- 自団体が運営する活動拠点
- 保育園が入っている施設の別フロア

# 保育園こども食堂事業の効果（1/3） ※保育園事業者

## 保育園事業者の約95%が地域の子育て家庭の支援をできたと実感

（保育園こども食堂を実施した場合）実際に、保育園こども食堂を実施したことで、どんな効果が得られましたか



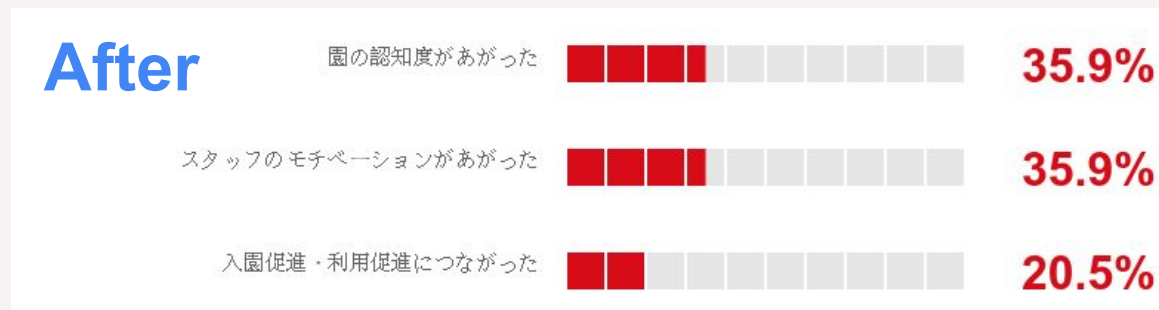
# 保育園こども食堂事業の効果（2/3） ※保育園事業者

## 園の認知度向上とスタッフのモチベーション向上は 期待していた以上の効果

今回の助成事業を実施する前に、保育園を起点とした食支援活動に期待していたことを教えてください



実際に、保育園こども食堂を実施したことで、どんな効果が得られましたか



# 保育園こども食堂事業の効果（3/3） ※保育園事業者

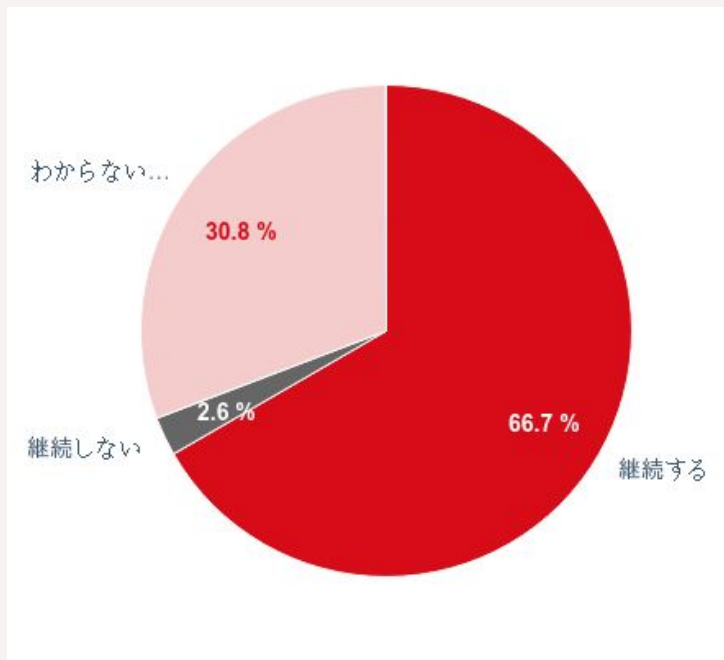
## 【その他の回答】

（保育園こども食堂を実施した場合）実際に、保育園こども食堂を実施したことで、どんな効果が得られましたか

- 参加家族が食に関し意識を高めてくれたこと！
- 在園児以外の地域の子育て家庭と繋がり、保育よりもさらに広く子育て支援を行うことができた
- 離乳食提供することへの社会的な関心の高まり
- こどもの食域が広がった
- 子どもの居場所ができた

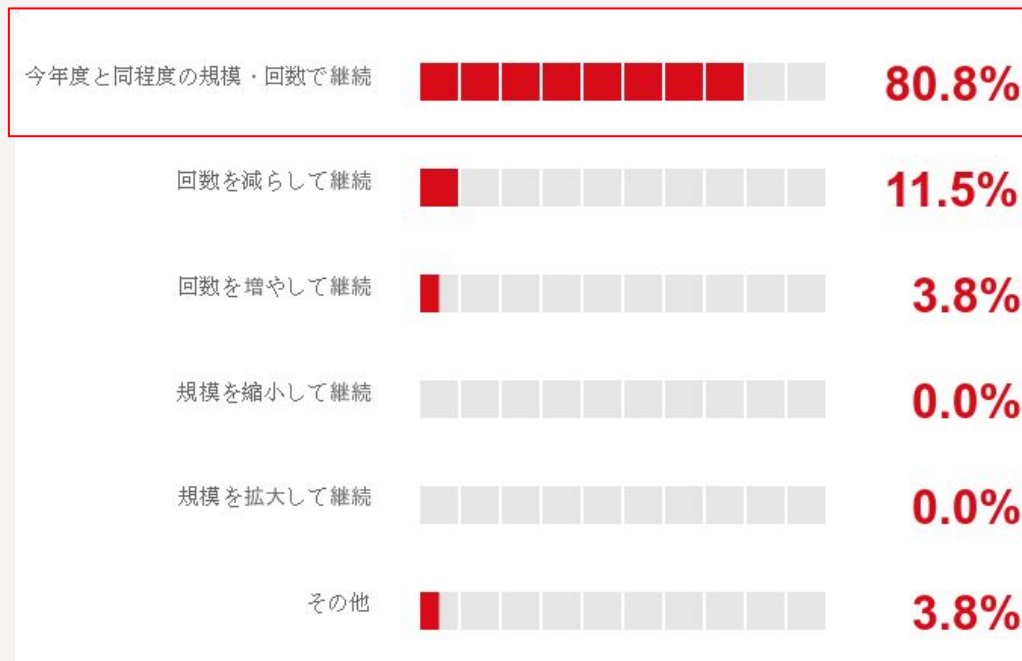
## 保育園事業者の7割弱が次年度も継続する意思あり

(保育園こども食堂を実施した場合) 次年度も継続しますか



## 多くの団体が**昨年度と同規模・回数**での実施を予定

(継続する場合) 次年度の予定について教えてください



## 保育園と保護者がともに、こどもの成長を支える仕組み

（継続する場合）その理由について教えてください（任意回答）

- 親子で楽しく食事をとれる場の提供をきっかけに、**育児等の相談をしあえる場所を提供**したい。
- 食を通じての学びや交流は、子どもたちの成長において欠かせない要素です。**健康でバランスの取れた食事を提供することにより、子どもたちの身体的な成長だけでなく、食べることの楽しさや大切さを知る機会**を提供しました。
- 保護者の方々にも参加いただくことで、**家庭と保育園との連携を深め、地域社会における子育て支援の一環としても機能**しています。
- 子どもたちはもちろん、**保護者の皆様や地域社会にもより良い影響を与えられる**と実感しています。子どもたちの笑顔あふれる食卓をこれからも多くの方々とも共有できるよう、引き続き皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



## 地域で支援を必要としている家庭とつながる

（継続する場合）その理由について教えてください（任意回答）

- 在園児含む地域の方々にご好評いただき、**利用される方の中には、もともと支援をしたいと考えていた方もいらっしゃった。**
- 当地域は、行政（〇〇市）による子育て支援が全く届いていない場所で、今後もその状況に何ら変わりがないことから、**当法人で子育て世帯をバックアップしていきたい**と考える。

## 活動の継続で、まだリーチできていない家庭にも支援を届けたい

（継続する場合）その理由について教えてください（任意回答）

- まだまだ**出逢えていない支援の必要な家庭がいる**ので、継続することで救いあげることができる  
と考えるため。
  - 在園児の**家庭状況の変化に気づく**ことができる。
  - 地域の方々との繋がりが増え、災害時など連携をもつことができるようになる。
  - 行政や関係機関に実情を把握してもらうことができる。
- 地域、在園児共に、**場があることが支援に繋げられる**と予想している。ただ、予想の範疇からまだ抜けていない実績がない状態なので継続して状況見ていきたいと思っている。
- **定期的開催し続ける**ことで、より要支援世帯の方にも情報がゆき届き、支援を受けていただけ  
るのではないかと考えています。

## 職員のモチベーション向上にも役立つ

（継続する場合）その理由について教えてください（任意回答）

- 在園かどうかに関わらず、多数の方がご参加下さり、**笑顔溢れる素晴らしい時間を過ごすことができ、職員のモチベーションが上がった**、というのが大きな理由です。
- 社会的にも求められていると感じられたから。園庭がない小規模保育事業所で、地域支援としてできることの一つと考えられたから。**職員の保護者支援の意識向上にも役立つ**から。

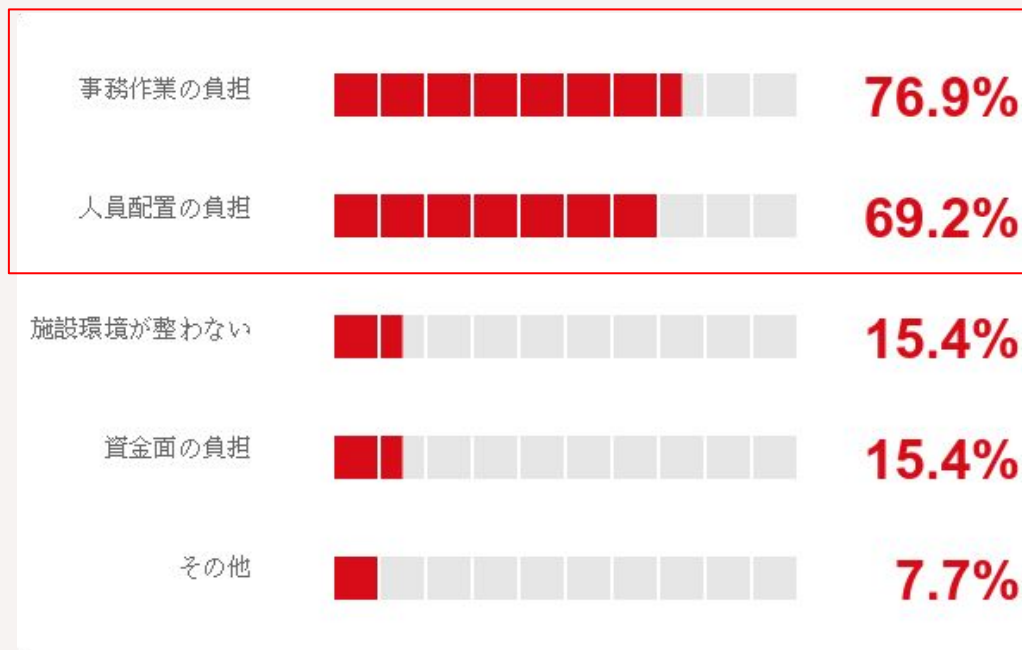
## 地域で広がる連携の輪

（継続する場合）その理由について教えてください（任意回答）

- 今年度より始めた**保育園こども食堂の成果が想像以上に出たため、支援が途切れないためにもぜひ継続していきたい**と思っています。**1年目にもかかわらず地域の期待値や要望も非常に多く、**同程度の規模、回数で開催するためにも引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い致します。
- 子ども食堂を開催するデメリットよりメリットの方が大きいから。**活動によって関係人口を増やしたい**から。
- 食材を購入した近隣店舗や地域の保護者から、次回の実施を期待する声が多いため。また、**同様の活動をされてきた別団体と合同で開催する提案をいただいている**ため。

## 事務作業や人員配置の負担が継続への課題

(継続しない場合／分からない・未定の場合) 継続しない理由について教えてください



## 「保育園こども食堂」の可能性

（継続する場合）その理由について教えてください（任意回答）

- **ひとり親家庭等ハイリスクな家庭で育つ子ども達の成長を地域で支えていく**ため
- 保護者の方がとても喜ばれていた。子どもと会話しながらゆっくり食べることができた、子どもと同じものをおいしいねといいながら一緒に食べることができた・・・等の声をいただいた。このような機会を通して、**保護者の方と会話する機会を増やすことで、支援の広がり、また虐待の防止にも大きくつながる**と思う。
- 子育て支援へのニーズとボランティアやスタッフの意欲の高まりを感じているから。
- 今までは何となく分かっていた困窮している世帯が、今回の活動を通じ**困窮世帯の家庭事情等**感じる事が可能となった。
- 子ども食堂により、**保護者との距離が変わった**。とても良いアプローチとなったため

## 「保育園こども食堂」の可能性

（継続する場合）その理由について教えてください（任意回答）

- **地域のニーズに対応するため**：「保育園こども食堂」を拠点とした食支援事業は**地域の子育て世代が直面する問題にアプローチし、親の悩みを聴く機会を提供**しています。この取り組みは**地域のニーズに即したものであり、継続することで地域社会により深く浸透し、支援の質を向上させることが期待**できます。

**対面でのコミュニケーションが有効であるため**：アンケート調査では得られない対象者の**実際の状況や悩みを直接把握**できる点が大きな利点です。今回のような**対面での活動を継続**することで、より具体的な支援やアドバイスを提供できるようになります。

## 「保育園こども食堂」の可能性

（継続する場合）その理由について教えてください（任意回答）

**多様な親子層にアプローチするための工夫**：今後は曜日や時間帯の柔軟な対応や、週末の実施などを検討し、さまざまな親子が参加しやすい環境を整えることが可能です。これにより、より広範囲な支援が可能となり、地域全体の子育て支援に貢献できるでしょう。

**コミュニティとしての役割を果たすこと**：「保育園こども食堂」やパントリーは親子の団らんの場だけでなく、支援者と支援対象者がコミュニケーションをとりながら問題解決に取り組む場でもあります。地域のコミュニティを強化し、共に成長していくためにも、この活動を継続することが重要です。

以上の理由から、次年度も「保育園こども食堂」を拠点とした食支援事業を継続し、地域の子育て支援に貢献していきたいと考えています。



# フードパントリー

保育園事業者  
有効回答数: 47

保育園以外の事業者  
有効回答数: 17

# フードパントリー事業の開催場所について（1/2） ※全体

## 自団体の保育園が活動拠点として最多

（フードパントリーを実施した場合）実施した場所はどこですか



次ページに詳細

# フードパントリー事業の開催場所について（2/2）※全体

## 自治体施設やイベントとも連携して実施している

### 【その他の回答】（フードパントリーを実施した場合）実施した場所はどこですか

- 学童保育
- 市役所
- 近隣の寺院、近隣の公園
- 公民館
- 近隣の学校
- **母子支援施設内**
- **地域のイベントや近隣のお祭りブー  
ス**
- 認定NPO法人が運営する地域拠点
- フリースクール
- フードバンク団体が実施
- 保育園のある施設の別室
- 系列園
- 保育園から近くの飲食店

# フードパントリー事業の利用世帯数 ※全体

## 1回の平均支援世帯数は**11～30世帯**が中心

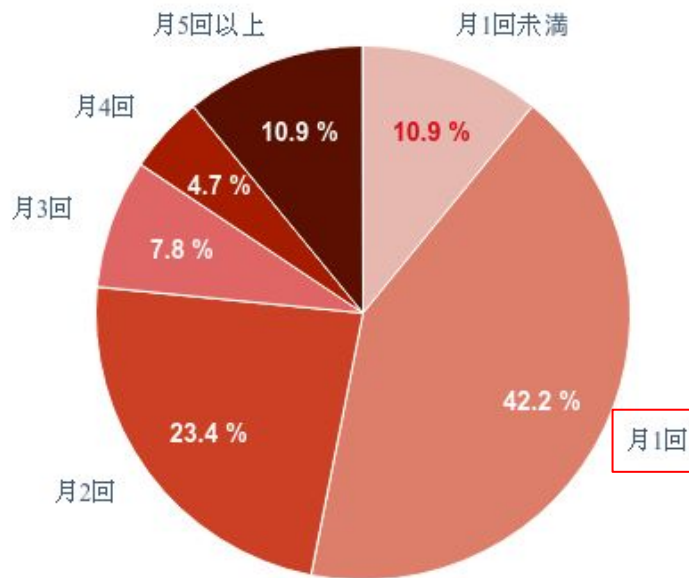
(フードパントリーを実施した場合) 1回の平均支援世帯数はどのくらいですか



# フードパントリー事業の活動頻度 ※全体

## 最も多い回答は月1回 (42.2%)

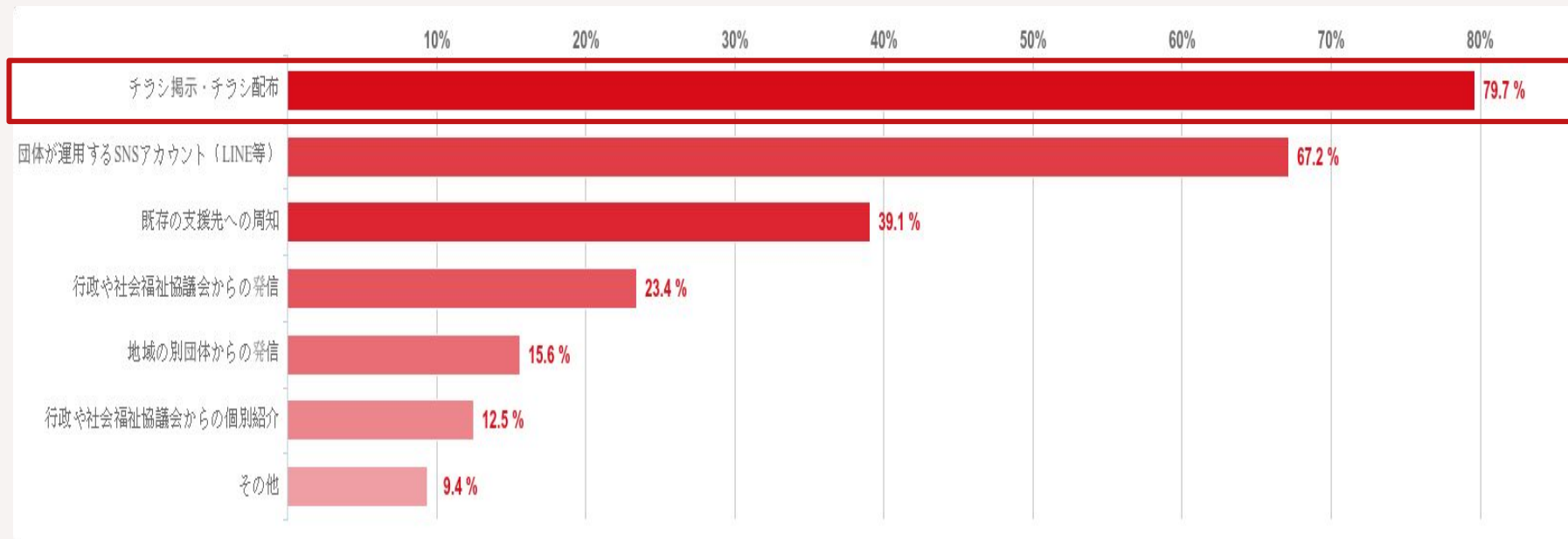
(フードパントリーを実施した場合) 活動の頻度はどのくらいですか



# フードパントリー事業の広報手段 ※全体

## チラシによる広報が最多の利用方法

(フードパントリーを実施した場合) どのように募集や案内をしましたか



# フードパントリー事業の得られた効果(1/2) ※保育園事業者

## 地域の子育て家庭の支援ができたとの回答が最多

(フードパントリーを実施した場合) フードパントリーを実施したことで得られた効果について教えてください

地域の子育て家庭の支援ができた



95.7%

在園児家庭の支援ができた



53.2%

要支援家庭とつながった



40.4%

# フードパントリー事業の得られた効果(2/2) ※保育園事業者

## 園の認知度向上や地域とのつながり、入園促進の効果も！

(フードパントリーを実施した場合) フードパントリーを実施したことで得られた効果について教えてください



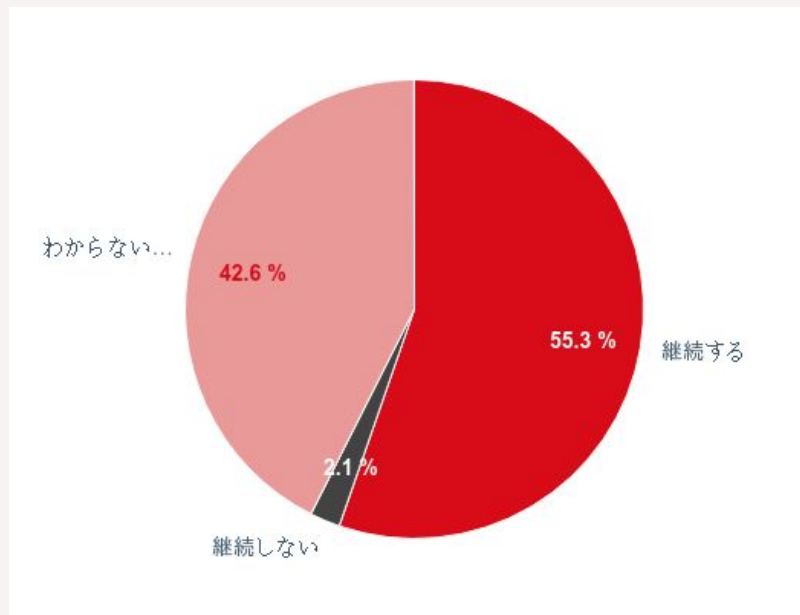


# フードパントリー事業の継続意欲 ※保育園事業者

## 保育園事業者の半数以上が継続の意向

一方で、わからない・未定の回答も40%以上

(フードパントリーを実施した場合) 次年度も継続しますか



## 保育園と保護者がともに、こどもの成長を支える仕組み

(継続する場合) その理由について教えてください (任意回答)

- 親子で楽しく食事をとれる場の提供をきっかけに、**育児等の相談をしあえる場所を提供**したい。
- 食を通じての学びや交流は、子どもたちの成長において欠かせない要素です。**健康でバランスの取れた食事を提供することにより、子どもたちの身体的な成長だけでなく、食べることの楽しさや大切さを知る機会**を提供しました。
- 保護者の方々にも参加いただくことで、**家庭と保育園との連携を深め、地域社会における子育て支援の一環としても機能**しています。
- 子どもたちはもちろん、**保護者の皆様や地域社会にもより良い影響を与えられる**と実感しています。子どもたちの笑顔あふれる食卓をこれからも多くの方々と共有できるよう、引き続き皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

# フードパントリー事業 継続意向の理由 ※保育園以外の事業者

(継続する場合) その理由について教えてください(任意回答)

- フードパントリーは準備のしやすさと、**広域に活動することができる。**
- ひとり親にニーズがあるから。
- 母子支援施設を通じて子育て中の親子を応援出来る。
- **地域の子育て世代の見守りにつながる**ため。
- **食糧支援の必要性**：地域の中で経済的に困難な子育て家庭が存在します。パントリーはそのような方々に食糧支援を行うことで、**基本的な生活の安定を支える役割を果たし、未来ある子ども達の支援に繋げていくことが可能**と考えます。

**地域社会の結束と支援体制の強化**：パントリーは地域の人々が協力して運営されることで、子どもたちへ多くのまなざし(見守り)を得ることができると考えます。支援を必要とする人々への食糧提供はもちろんのこと、**地域住民同士のつながりを深め、地域社会全体の結束を促進**します。また、パントリーを通じて地域の支援体制を強化し、より多くの人々に支援を届けることが可能となります。

# フードパントリー事業 継続意向の理由 ※保育園以外の事業者

(継続する場合) その理由について教えてください(任意回答)

**持続可能な支援活動の実現**：パントリーは定期的に食糧支援を行うことで、持続可能な支援活動を実現しています。食糧支援が継続されることで、支援を必要とする人々が安心して暮らせる環境が整い、地域全体の安定に貢献します。

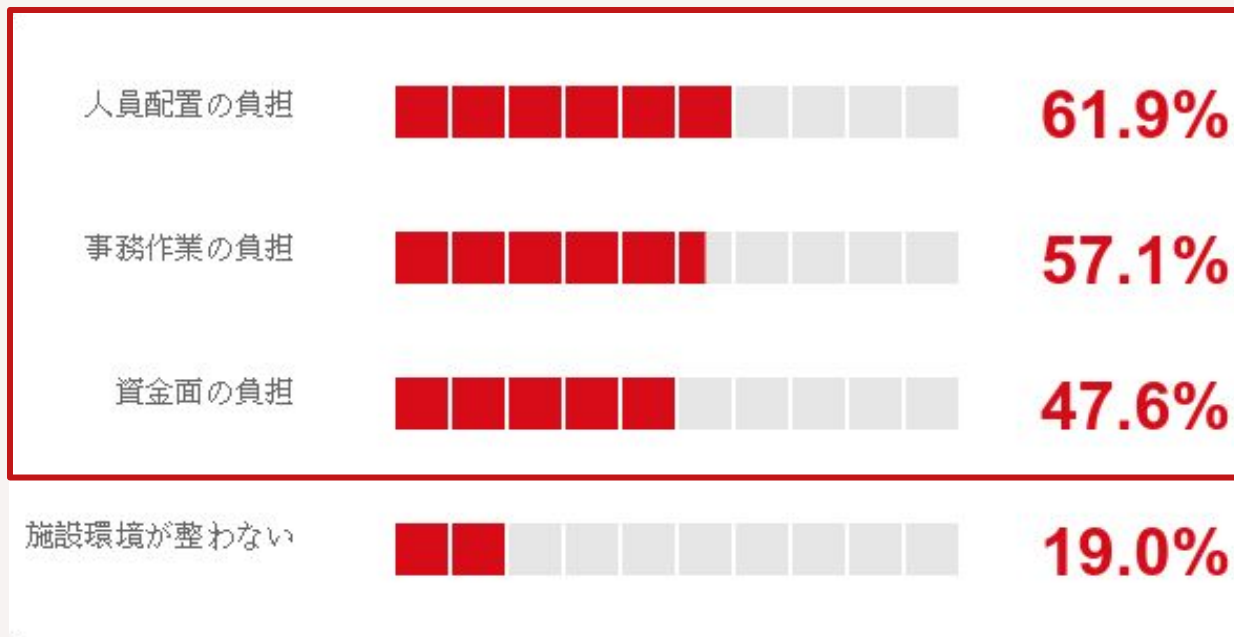
**緊急時の対応力**：災害や緊急時においても、パントリーは食糧支援の拠点として機能します。災害時には特に食料の確保が重要となりますが、パントリーが継続していることで、地域住民に安心感を与えることができます。

以上の理由から、パントリーの継続は地域社会にとって非常に重要であり、経済的な支援や地域の結束を強化するためにも続けるべき活動であると言えます。

# フードパントリー事業の実施の課題 ※保育園事業者

## 継続的な運営への課題：人員配置・事務作業・資金面

(継続しない場合／分からない・未定の場合) 継続しない理由について教えてください



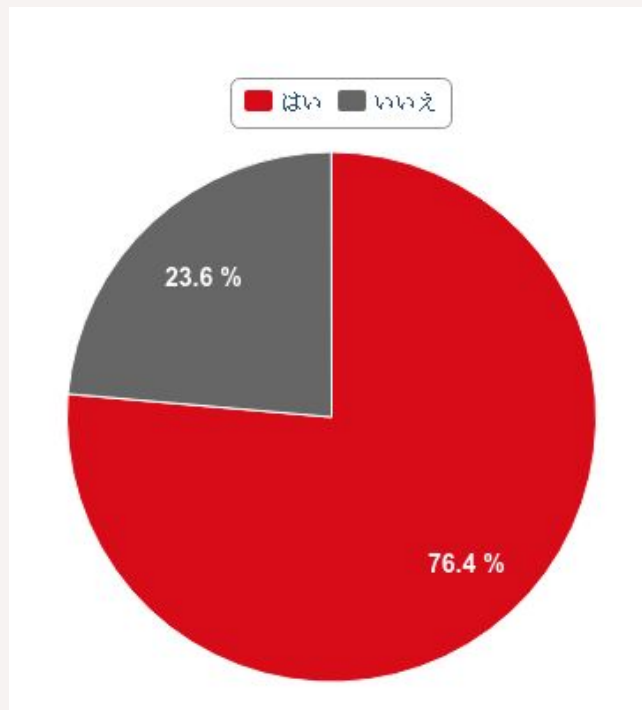
# 家庭支援

全体  
有効回答数: 72

# 食支援事業実施中の要支援家庭への対応

## 76.4%が何らかの対応を行った

本助成事業を活用した事業の中で「支援が必要な家庭」への対応は発生しましたか



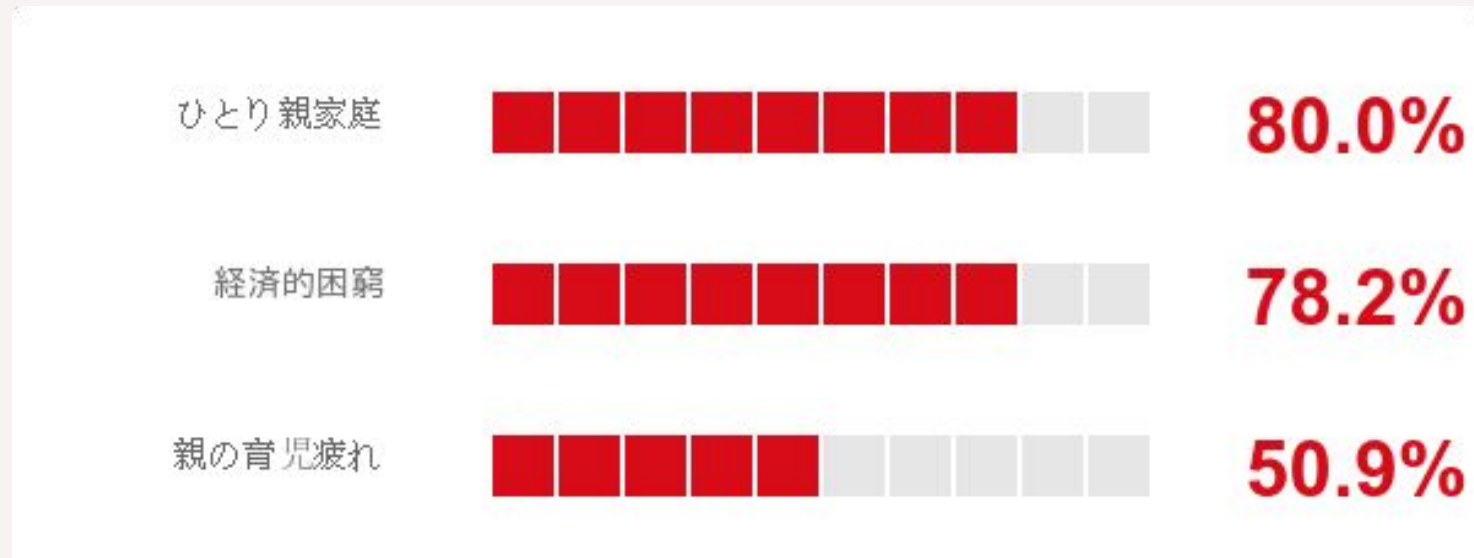
はい : 76.4%

いいえ : 23.6%

# 事業を実施してつながった家庭（1/2）

**ひとり親家庭 / 経済的困窮 / 育児疲れ家庭とつながるには特に有効**

（本助成事業を活用した事業の中で「支援が必要な家庭」への対応は発生しましたか：はいと答えた場合）どのような家庭でしたか

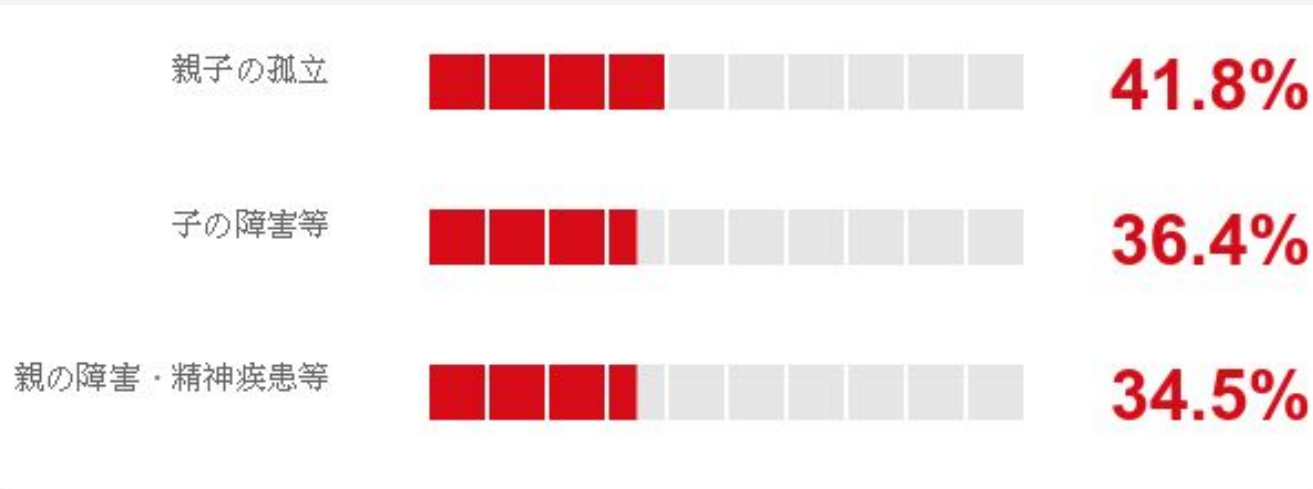




# 事業を実施してつながった家庭（2/2）

## 孤立した親子や、障害者家庭への支援にも有効

（本助成事業を活用した事業の中で「支援が必要な家庭」への対応は発生しましたか：はいと答えた場合）どのような家庭でしたか



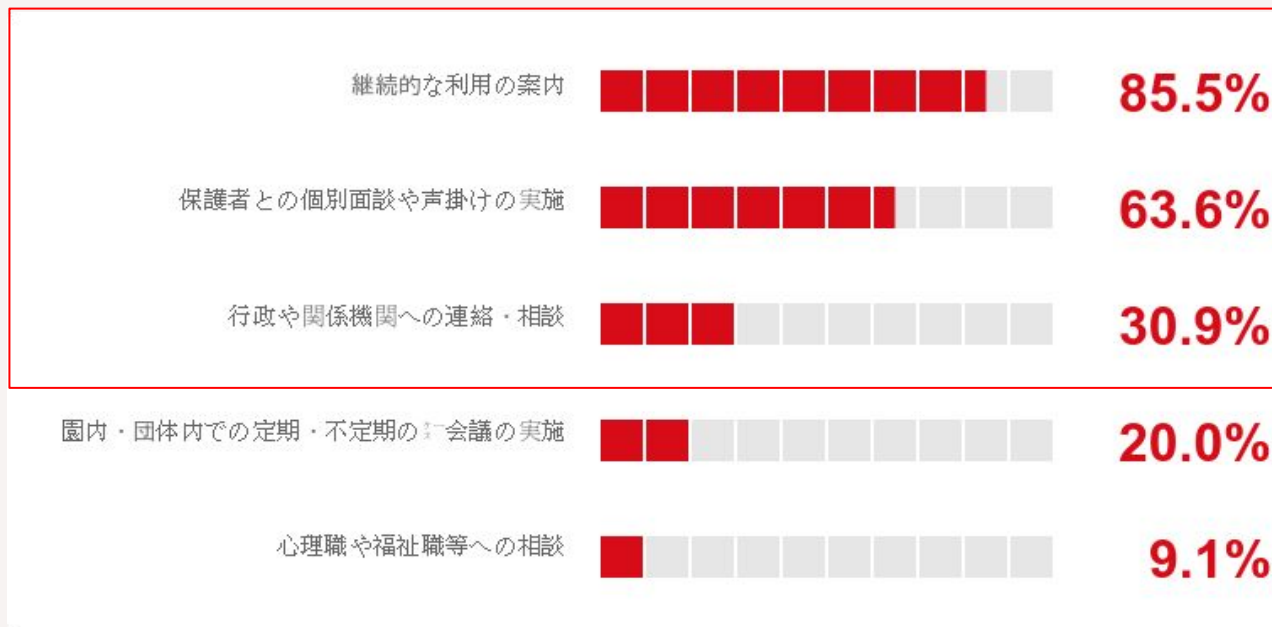
その他、  
ケース会議家庭や、  
産前産後家庭とも  
つながったケースも

# 「支援が必要な家庭」への対応方法(1/2)

## 食支援活動は見守り支援

## →個別面談につなぐ→行政や関係機関へ連携

(本助成事業を活用した事業の中で「支援が必要な家庭」への対応は発生しましたか：はいと答えた場合) どのように対応しましたか



# 「支援が必要な家庭」への対応方法(2/2)

## 見守り・声掛け・行政連携を行うことで継続的なコネクション形成

(本助成事業を活用した事業の中で「支援が必要な家庭」への対応は発生しましたか：はいと答えた場合) どのように対応しましたか

### 【その他の回答】

- 何らかの課題を抱えているご家庭であることは申し込みの段階で伝わってきたが、当日取りにいらっしゃなかったこともあり実態がつかめなかった
- 申込締め切りを過ぎていても、こちらから声掛けし取りに来てもらうこともあった
- 法人内の別事業(学習支援、保護者への相談支援)に繋ぎ、継続支援中。
- おやこ食堂開催の場に、**行政の担当者が来て、相談会を実施している**。
- **散歩の際にお会いすることもあるのでそこで話を聞くなど**
- 保育園利用の案内や、法人の実施している別イベントへの紹介。
- こども自身への開催通知と参加勧奨(学校を通じたチラシの配布・こどもたち同士の声かけ等)

# 「保育園の多機能化」

# 今後の「保育園の多機能化」に向けて（1/2）

## 未就園児の保育／一時預かり／ソーシャルワーク を実施・検討している園が過半数

「保育園の多機能化」の側面から今後運営している保育園等で取り組みたい事業、現在取り組んでいる事業について教えてください



# 今後の「保育園の多機能化」に向けて（2/2）

## 障害児・医療的ケア児の保育/アウトリーチ/産後ケア にも関心がある

「保育園の多機能化」の側面から今後運営している保育園等で取り組みたい事業、現在取り組んでいる事業について教えてください



食支援と組み合わせた「保育園の多機能化」の可能性も

保育園事業者 n=55